

UAV撮影コース別精度管理表(三次元点群作成) 1/2

地区名 地方名	〇〇〇	カメラ	名称	〇〇〇	計 画			作 業 名	〇〇〇
			画素数	〇〇 pixel × 〇〇	地上画素寸法	基準面高	対地高度		
撮影日時	飛行方向	レンズ	名称	〇〇〇	1 cm	12 m	58 m	主 任 者	〇〇 〇〇 印
〇年〇月〇日	W N E S	焦点距離	〇〇 mm	計画OL	85%	計画SL	60%	社 内 者	〇〇 〇〇 印
h:m 10:16~10:37		ISO	640	シャッター速度	1/1600秒	重複率点検方法			社 内 査 査
風 速	2~3 m/s	データ形式	RAW, TIFF, JPEG, ...	目視または使用ソフト名など					

【コース方向重複度(OL率)】

ファイル名	コース番号	写真番号	コース方向重複度	航跡のずれ	撮影結果				
					与具番号	ファイル名	与具番号	写真番号	
B1001.jpg~B1050.jpg	c-1	1001~1050	80%以上	10%以内		B1001.jpg~B1070.jpg	1001~1070	60%以上	2003~2075
B1051.jpg	c-1	1051	78%	2.1m		B1071.jpg	1071	59%	2076
B1052.jpg	c-1	1052	79%	1.5m		B1072.jpg~B1158.jpg	1072~1158	60%以上	2076~2162
B1053.jpg~B1189.jpg	c-1	1053~1189	80%以上	10%以内		B1159.jpg	1159	58%	2163
B1190.jpg	c-1	1190	79%	2.3m		B1160.jpg~B1237.jpg	1160~1237	60%以上	2164~2240
B1191.jpg	c-1	1191	81%	1.1m		B1238.jpg	1238	59%	2241
B1192.jpg~B1269.jpg	c-1	1192~1269	78%	10%以内		B1239.jpg~B1450.jpg	1239~1450	60%以上	2241~2350
B1270.jpg	c-1	1270	80%以上	5.6m					
B1271.jpg	c-1	1271	80%以上	6.0m					
B1272.jpg	c-1	1272	81%	5.9m					
B1273.jpg~B1450.jpg	c-1	1273~1450	80%以上	10%以内					

計画OL85%(90%未満)・計画SL60%での撮影結果を重複度と画質を分けてまとめた記載例

- ・重複度も画質も記載必須です
- ・重複度と画質を分けるか否かは自由です
- ・数値(青字)はあくまで参考例としての値です

対地高度58m、その10%は5.8mなので、軌跡のずれが5.8m以内なら問題ありません。
ちなみに、この事例では最大6.0mです。

【重複度】枚数が多すぎる場合には、全項目に問題の無い写真はまとめて記載することもできます。ただし、無理して、記載を省略する必要はありません。

この記載例では、「最小OL:78%、航跡のずれの最大値:10.3%、最小SL:58%」です。つまり、マニュアルに書いてある制限「最小OL:80%(第57条)、航跡のずれ:10%以内(第61条)、最小SL:60%(第57条)」を超過しています。

この結果を踏まえた上で、第63条の追加撮影を行わずに三次元形状復元計算に進んだ場合、作成されたオリジナルデータが必要な精度を満たし(第67条)、かつ、必要な密度を満たすなら(第70条)、必ずしも追加撮影をする必要はありません。ただし、作成されたオリジナルデータが必要な精度または密度を満たさない場合は、第63条(追加撮影)まで戻らなければならないので、追加撮影を行うか否かは慎重に判断して下さい。精度を上げるための対策としては、あらかじめ、標定点や検証点を多めに設置しておくなどが考えられます。

6.0m/58m → 10.3%

(最小OL)

78%
10.3%

最小値
(最小SL)

58%

※OL率及びSL率は、採用した写真のみを用いて計算するものとする。

